

テーマ	全経対策（Ⅱ）：値引・返品・諸掛り・現金・現金過不足・当座預金・社債								
学籍番号								氏 名	

1. 次の取引について仕訳を示しなさい。（全経 3 級対策）

- (1) 八尾商店から掛けで仕入れていた商品 200 個（@10,000 円）のうち、本日、8 分の 1 を戻し、代金は掛け代金から控除した。
- (2) 花岡商店へ掛けで販売していた商品 30 個（原価@5,000 円、売価@7,500 円）のうち、3 個が破損していたため、本日、返品されてきた。
- (3) 仕入先楽音寺商店から商品 15 個（@20,000 円）を仕入れ、代金のうち 100,000 円は現金で支払い、残額は掛けとした。なお、引取運賃 5,000 円については現金で支払った。
- (4) 得意先北本町商店に商品 800,000 円を売り渡し、代金は掛けとした。なお、当店負担の発送運賃 6,000 円については現金で支払った。
- (5) 現金の実際有高が帳簿残高より 39,000 円不足していたので、かねて現金過不足勘定で処理しておいたが、その後原因を調べたところ、旅費交通費の支払額 25,000 円、通信費の支払額 18,000 円および手数料の受取額 7,500 円が記帳もれであることが判明した。
- (6) 経法商店は、阪南商店から商品 400,000 円を仕入れ、引取運賃 3,000 円とともに小切手を振り出して支払った。なお、当座預金の残高は 250,000 円であったが、借越限度額 3,000,000 円の当座借越契約を結んでいる。ただし、当座取引は、当座預金勘定と当座借越勘定で処理している。

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		

授業の感想など	
---------	--

テーマ	全経対策（Ⅱ）：値引・返品・諸掛り・現金・現金過不足・当座預金・社債								
学籍番号								氏 名	

2. 次の一連の取引について仕訳を示しなさい。（全経 2 級対策）

- (1) 平成×3 年 4 月 1 日に社債額面@100、年利率 4.5%（利払日は 9 月および 3 月の末日）、償還期限 5 年の条件で、額面総額 30,000,000 円を発行価額@98.5 円で発行し、払込金額は当座預金とした。なお、社債発行に要した費用 400,000 円は現金で支払った。
- (2) 平成×3 年 9 月 30 日、第 1 回の利払日につき、社債利息を小切手を振り出して支払った。
- (3) 平成×4 年 3 月 31 日、第 2 回の利払日につき、社債利息を小切手を振り出して支払った。また、本日決算日につき、社債に対して、償却原価法（定額法）を適用する。また、社債発行費は繰延資産として計上し、社債の償還期限内にわたって定額法により償却する。
- (4) 平成×8 年 3 月 31 日、上記の社債が本日満期となったので全額償還し、最終回の利息とともに小切手を振り出して支払った。なお、本日は決算日であるため償還に先立ち、社債および社債発行費について必要な償却を行う。

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		

授業の感想など	
---------	--